

6月定例会

陸別町議会6月定例会は、6月2日と3日の2日間開かれました。今定例会では、農業委員会委員の任命10件、条例改正案1件、補正予算案1件、意見書案1件を同意または可決し、閉会しました。

陸別町福祉住宅条例を改正

からまつハウスの入居対象者が、居住者、同居者共に個人町道民税が過去5年間非課税（公的扶助受給者を除く）であることに変更されました。

条例改正質疑

また、入居者の電気料金は町で負担し、入居者から施設使用料を次のとおり徴収する。

（1）非課税収入を含めて算定した課税標準額相当額が、非課税の範囲内である者は、5月から11月は5千円、12月から4月は1万円

（2）（1）以外は、居室の電気料相当額の実費。（入居後に公的扶助の受給が決定された者を含む）

担当職員が定期的に居室に入って面談やスマート水道メーター安否通知サービスによる見守り（通知先は身元引受人、いない場合は福祉担当）の機能強化。

Q 非課税者である高齢者が、一軒家を維持するのが困難な場合、住み替えてからまつハウスに入居すること可能か。

A 現在、一軒家を維持することが困難で転居を希望される方でも、入居条件等に合致すれば住み替えできる。



▲ からまつハウス（歯科診療所の隣）

★ 住宅料は月額1万円とする。ただし、入居後に課税となった場合は下記のとおり。

入居者等の個人町道民税の合計額	住 宅 料
均等割のみ課税又は入居後公的扶助の受給が決定した者	15,000円
所得割が 1円～10,000円	20,000円
10,001円～50,000円	25,000円
50,001円～	30,000円

※ 詳しくは保健福祉センター福祉担当にご確認下さい。

補正予算質疑から

●地域経済循環創造事業

3千万円

本事業は、総務省の「ローカル100000プロジェクト（地域経済循環創造事業交付金）」事業を活用し、町内企業が実施する「エゾ鹿解体場を核とした、熟成肉販売と観光事業」におけるエゾ鹿解体場の整備にかかる経費の一部を補助する。（うち国費2千250万円）

Q 熟成肉の販売と観光事業というのですが、

骨や内臓などの肉以外に出てくるものの処理等も考えられた施設になるのか。

A 熟成肉以外の活用については、実施主体の企業が活用できるものは活用し処分するものは適切に処分していただく。

Q ふるさと納税などの増額にもつながり、町の宣伝にも大きく寄与する

と考える。今後も事業者と

密なサポートを取りながら上手くいくように進めていただきたい。

A この事業内容の中で事業者が主体的にやって行くことは理解していただきたい。事業主体が自立した中で、今は支援をするという段階なのでコミュニケーションを取りながらやっていく。町として頑張る人を応援したい。

●緑町公営住宅基本設計

△968万円

Q 緑町公営住宅の基本設計を取り下げるとい

う説明を受けたが、今後の計画はどのように進めていくのか。

A 緑町団地の基本設計については、令和10年度に公営住宅等長寿命化修繕計画の見直しを予定している

ので、建て替え計画については状況に応じて改めて検討したい。

●公用車購入 雪寒機械

△8千198万円

Q タイヤ関連の事情により除雪トラック購入を見合わせるが、除雪作業に支障がないのか。

また、トラックの更新目安とその判断について伺う。

A 購入予定車両の納期が令和9年3月末の予定であり、今年度の除排雪業務は現有車両で行う計画であった。重大な故障等があった場合は、既定予算または補正予算で対応していく。

除雪トラックの更新は、概ね15年から20年を目途に車の状態等を確認しながら計画的に進めている。



▲今年度の購入を取りやめた除雪トラック

農業委員会委員の任命

町から提案のあった次の10名の任命に同意しました。（敬称略、議案番号順）

上登良利	佐藤直人
薫 別	大西靖浩
作 集	原田利則
共栄第1	川口助夫
中斗満第1	前田和典
下勲祢別	石井達也
新町2区	上田直幸
元 町	工藤哲男
若葉町	佐藤皓司
弥 生	坂倉智博

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、芳賀均氏（元町）は適任と答申することを決定しました。

6月定例会では4人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。
その内容を要約して掲載します。

一般質問

りくべつ鉄道、しばれフェスティバル等、

観光産業の今後は

工藤 哲男 議員

ふるさと銀河線

りくべつ鉄道

問 今年度「りくべつ鉄道」を使った体験型ふるさと納税特別企画を考えるに至った経過と内容・現状の進捗状況と共に、今後

も商工会と連携し、道の駅の観光施設整備とりくべつ鉄道を進めていくのか伺う。
また、旧営林署の貯木場を取得し、公園等を整備して観光客と町民利用促進を行う考えは無いか。

夏の観光拠点として今後の町の対応と活性化手段について伺う。

町長 体験型ふるさと納税は、3日間で4つの運転体験、「テージ・天文台・飲食店割引クーポン・鉄道グッズ進呈等の企画とした。

応募はまだ無い。

りくべつ鉄道は19年目となる。気動車塗装等は町からの提案であり、商工会と連携し長く続けるための整備を続けていく。

貯木場取得は、国有林素材の一時保管場所として活用中で難しい状況。今後情報収集していく。

（例）りくべつが観光拠点運営の重要な役割を担っている。夏のイベントは現状維持とし新しい人材を確保し魅力ある情報発信を進める。

しばれフェスティバル

問 総合計画の「交流観光拠点づくり」の観点から「しばれフェスティバル」について町としてその必要性は何か。

町政執行方針で天文台は町のシンボルと公言したが

冬期間の天文台の利用者と耐寒テスト体験者等の交流人口の現状は。

また、天文台、「テージ、しばれ耐寒テストの体験型ふるさと納税特別企画の発想と冬のロングランイベントとする考えはあるのか。

現在の実行委員会体制継続で実行委員長は町長に限らず実行委員の中から決定するとの理解で良いのか。

町民参加対策と作業委託の考えなどイベントの方針を伺う。

町長 陸別町の寒さは宝物で町づくりの原点で日産テストコース誘致も寒さあってである。「しばれ」

は町のPRと町民間の交流や人づくりの場所でも非常に重要なイベントである。

また、耐寒テストは温暖化の影響でバルーンマンション作成困難であったが抽選で人数を限定しイベント参加も可能とした。今まで町民の参加者は数えたことは無いが高齢者参加は今後検討していく。

指標	基準値	目標値	令和7年実績
年間観光入り込み客数 (観光入り込み客数調査)	17.6万人	22.9万人	14.7万人
年間観光宿泊者数 (観光入り込み客数調査)	0.9万人	1.1万人	0.8万人
観光イベント参加者数 (観光入り込み客数調査)	2.4万人	3.1万人	1.6万人

しばれフェスティバルのロングラン化は非常に困難であるが冬期間のふるさと納税特別企画も検討する。
新実行委員会体制で形ができたため、委員長は町長で変えるつもりは無く、手作り感重視で作業の委託は考えずに、「日本一寒い町」の冬のイベントを一層良いものにする。



ここが聞きたい

優しい街は

ユニバーサルデザインから

渡辺 三義 議員

ユニバーサルデザイン化の計画及び実績について

問 近年、人の出入りが多い場所や人の密集する地域は、人を中心とした環境作りがなされ、全ての人たちに優しいユニバーサル社会の構築に向けた街づくりが進められている。

本町でのユニバーサルデザイン化に向けた計画や実施について伺う。

町長 道路施設等におけるユニバーサルデザイン化に対する計画等は、未策定で実績についても過去にはない。

現在、道路歩道等の工事や整備及び建築物は、バリアフリー化に向け進めている。今後も北海道建築物公共施設等総合管理計画に基づき、ユニバーサルデザイン

ン化に向けての視点を持つて街づくりを進めていく。

陸別町地域福祉計画について

問 この計画は、令和4年度から第一期がスタートし、今年度を最終期限として次期に引き継いでいく予定である。

今期におけるユニバーサルデザイン化に向けての取り組みや評価及び次期に向けた施策に対する基本的な考えと方針について伺う。

町長 計画の取り組みは、全ての町民が既存の施設等について、安心して暮らせる町づくりに努めてきた。

また、評価は、町民の足を守るということで、現在町内全域についてハイヤー

料金を1回につき300円で利用できるように、交通機関におけるユニバーサルデザイン化に努めた。

災害時の個別避難計画書や引きこもりサポートセンター「ぼっけ」の設置等順調に進めてきた。

今後、更に福祉におけるソフト面の強化やアンケート等を通じ、町民の声を聞きながら、様々な角度から町民が安心して暮らせる町づくりを進めていく。

町道東1条通りの歩道改善にむけて

問 役場の横を走る町道東1条通りのNPO優愛館入口付近の歩道は、縁石が高く、幅員も狭く、歩行や車いすの利用者にとって不具合がある。

その周辺一帯は、福祉ゾーンと言われており、それに似合った改善が必要と思われるが、考えについて伺う。

町長 町道東1条通りは福祉ゾーンでもあり、そ

の環境になっていない事も感じている。

利用者にとって不具合が生じているならば、町としても改善に向け対応していきたい。

その周辺一帯は、地形的に勾配があり現場を見て技術者との協議も含め調査をし、予算等の面もあるため今すぐとはならないが検証する。

今後についても全ての町民が平等で安心して暮らせる町づくりに努めていく。



▲ NPO優愛館前の歩道

陸別町簡易水道事業・

下水道事業経営戦略について

谷 郁 司 議員

問 総務省・国土交通省は、令和2年に自治体の

の上下水道事業の経営戦略を令和7年度までに見直す必要があると通知されてきたところである。

現在の上下水道の管路総延長の長さや耐用年数40年を過ぎた管路の長さ、更新が必要な管路の長さは。

町長 町が管理する上水道

管路の総延長は簡易水道82・1km、専用水道28・9km、営農用水43・3kmの合計154・3km。耐用年数40年を経過した管路は、簡易水道で約17・5km、営農用水で約19・9km、専用水道は該当なし。更新が必要な管路は25・3kmであり計画的な更新が必要と考えている。なお、下水道管は平成10年に供用開始し27年が経過し更新予定はない。

問 料金を徴収できる有収率は約60%であるので、漏水量が大きく影響しているのではないか。

漏水した水には薬剤、電気代等のコストが含まれ料金回収率に関連してくる。

漏水箇所の早期解消に努める必要があると考察するがどうか。

町長 過去5年間で漏水は

全体で6件発生している。原因として、塩化ビニル管の周辺に有る碎石や玉石等と水道管とが接触し、ヒビが入って破れ漏水する例が多く見られる。

管の更新は、割れない高性能の耐震管に換えていく。

また、日々スマートメーター等による監視や現地をピンポイントで目視し、漏水箇所を見つける等の作業をしている。

問 当町の経営戦略では簡易水道の料金回収率が、令和5年31・7%、令和6年51・7%、令和7年51・3%（見込み）、令和17年には人口1500人で、31・9%まで低下する見込みである。

国の意向を100%達成するには、料金回収率を上げる必要があるとのことである。

戦略では、回収率向上のため水道料金を令和10年に25%、令和15年に30%の引き上げ、下水道料金は令和10年と15年に各17%引き上げを目標としているが、町民の合意を得るための方策は。

町長 15年以上使用料の改定を行っていないなど、

いまの料金のままでは国からの社会資本整備総合交付金が対象とならず、補助金や起債が不利になる可能性がある。

料金改定の際は、下水道水道審議会から答申を受け町として方針を整理する。

町ホームページ、広報誌などで料金改定の必要性や内容について丁寧に説明していきたい。

問 料金改定や老朽化による設備改修経費を急激な町民負担とさせないため、備荒資金を財源として新たに上下水道基金を設けてはどうか。

町長 上下水道企業会計は独立採算であり公営企業会計の性質上、直接的には困難である。

水道料金は類似他町と比べ決して高い位置ではなく、また、長い間値上してこなかった事により交付金等がもらえなかったのも事実である。

町民の皆さんにどのように説明していくか、様々な場面でやり方は決まっていないが、議員の皆さんにも説明し、合意形成に取り組みながら進めたい。

官学連携への考え方について

濱田正志 議員

外部人材の活用で 課題の解決を

問 陸別町の課題は様々なものがあり、人口減少、担い手不足、観光資源の不足などがあげられる。

町づくりには計画が必須であり現在も長期計画で町づくりに取り組んでいるが、

その中で優先順位等はあるか。

答 優先順位等は決めているが総合的に取り組むことと考えている。

問 町というものは人がいて初めて成立するもの

と考える。基幹産業である農業・林業にとどまらず商工業を振興し働く場所を作る事が大事だと考える。

この問題を解決するにあたり、外部の方に意見をもらい成功した事例として、

大樹町のHOSPO（北海道スペースポート）がある。

その他にも近い規模の自治体であれば島牧村があり連携協定を結び観光や産業に取り組んでいる。

観光に関しては株式会社りくべつに頼る部分が多いが、人材不足のため現状維持や今ある業務に追われる状況だと考える。新しい手段として官学連携を取り入れる考えはあるか。

答 現在行っている事例として、天文台で名古屋大学、北海道大学、極地研、北見工大などを行っている。今後、北見工大とは

授業の一環として、天文台の望遠鏡を使う実習を行う事を予定している。

問 バイオガスの余剰熱の利用について、新たに地域おこし協力隊が就任

された。

この事例こそ官学連携を利用した様々な取り組みにチャレンジするべきかと考える。

魚類の陸上養殖、水耕栽培のプラント等、大学が率先して研究している現状だからこそやるべきと思うが考えは。

答 余剰熱を活用する考えは今に始まったことではなく、創業当時の事であり、既に議論されたところと思っている。

現在は、安定操業と経営基盤の立て直しを最優先に取り組んでいることを理解してほしい。

研究については、判断をしなければならぬ時期はくると考えるが、今はその状況ではない。

問 安定稼働と言っても発電できる電力の上限

は判っている。売電価格も据え置き状態では稼げる金額が決まっている。しかし、人件費や経費は上がった

ていく一方なので、赤字を増やすだけではないかと考える。2年前の質問でも同じような回答を頂いたが何も進んでいないと思う。どのように考えているか。

答 議論が進んでいないわけではなく、農協も農業者も皆で考えながら進めている。

バイオ事業への支援4千万円も議会で可決され理解を得ている。

そのうえで慎重に進めなければならぬと考えており、私自身責任の重い位置に立っていると思っているのでご理解頂きたい。



▲ 鹿追町のバイオ施設でチョウザメ養殖

産業常任委員会報告

農業経営基盤強化促進
による「地域計画」

策定状況調査

委員長 工藤 哲男

令和8年4月16日実施

陸別町の農業者は、農協によると過去20年で新規就農者が7件就農したが、正組合員戸数は29戸減少し、生乳出荷戸数も31戸減少していると聞く。

生乳出荷戸数は半減しても、生乳生産量は20年前の3万3千トンから昨年度では4万3千トンへ3割の増産となり、農業総生産額は32億円（税抜）から65億円（税込）と、およそ倍の額となっている。

陸別町の農業の今後を考えると、農業総生産額の増加を継続するためには、現状の農業者である組合員の高齢化などによる組合員、生乳出荷戸数の減少は避けられなく、農業の担い手である後継者・新規就農者の

確保等により正組合員戸数と生乳出荷戸数を維持することが重要である。

この農家戸数減少の状況は、当町だけでなく全国的にも見られることから、国は農業の担い手と農地を守るべく、農業経営基盤強化促進法（基盤法）を令和4年に改正した。

農地の集約化や担い手不足から、新規参入の促進を目的として「人・農地プラン」の「地域計画」への法定化を通じ、農地の目標地図を作製し、地域ぐるみの効率的な農業経営体制の構築を目指している。

そこで、産業常任委員会は、陸別町の担い手確保と将来の農地利用の目標となる「地域計画」について所管事務調査を実施するに至った。

「地域計画」は、農業者の高齢化・担い手不足による耕作放棄を防ぐため、10年後の農地利用の姿を地域で話し合い、目標地図として策定する法的な計画であ

る。

令和7年3月末までに各市町村で策定が義務化され当町では、令和6年12月に策定。

農業者と農業関係機関と協議の上進めている計画であり、現在の農家戸数、生乳出荷戸数を維持または戸数増を目指し減少を食い止める方針を、町・JA陸別町・農業委員会は固めている。

今後の農業担い手確保対策は、農業関係者で組織する陸別町農林推進協議会が進めていくことになる。

産業常任委員会としては農地の「目標地図」と「地域計画」の担い手確保の支援協議会である陸別町農林推進協議会の動向を見守る。



	正組合員 戸数	生乳出荷 戸数	生乳生産量 (t)	農業総生産額 (千円)	備考
2006年(平成18年)	104	67	32,857	3,199,652	税抜
2011年(平成23年)	96	63	37,936	4,122,099	税抜
2016年(平成28年)	88	52	39,934	5,748,675	税込
2021年(令和3年)	83	40	41,890	5,717,445	税込
2025年(令和7年)	75	36	42,696	6,578,410	税込

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
第3回臨時会（5/8） ● 工事請負契約の締結について（陸別地区簡易水道市街地地区配水管布設替工事） ● 町税条例の一部を改正する条例 ● 陸別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決 可決 可決
6月定例会（6/2～6/3） ● 農業委員会委員の任命について 10件 ● 陸別町福祉住宅条例	同意 可決

令和8年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	△ 4,220万円	55億 0,991万円

可決した意見書

● ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書



議会の動き

8日 議会運営委員会 第3回臨時会

29日 議会協議会

29日 議会運営委員会

2日 6月定例会

議員協議会

総務常任委員会

産業常任委員会

3日 6月定例会

議会運営委員会

（広報編集会議）

22日 議員協議会

【7月】

2日 議員研修会

（札幌市）

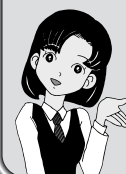
16日 議会運営委員会

（広報編集会議）

28日 総務常任委員会

議会運営委員会

次回の定例会は9月に開催されます。
詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。



陸別町議会 ホームページのご案内



【陸別町議会ホームページ】
<https://www.rikubetsu.jp/gikai/>